施工証明書 兼 お客さま電気設備図面の記入方法

施工証明書　兼　お客さま電気設備図面

・お引渡しました電気設備について、関係諸法令に適合した施工であることを証明いたします。
・この証明書は、電気工事業の適正化に関する法律による帳簿を兼ねます。

いずれか該当するものに〇を付す。
容変・種変の場合は、空欄に容変又は種変と記入する。

新設以外は必ず記入する。

関西電力が記入または押印する。

お申込番号

関西電力がお客さまと協議し記入する。

証明設備	契約種別	電灯 / 電力 / 電力 / 公衆街路灯 / 臨時電灯 / 臨時電力 / その他	工事種別	新設 / 増設	住所	大阪市住之江区浜口西３丁目９番５号	
			供給方式	単2 / 単3 / 3相 / 100/200V			

お客さま名	関西　一郎	お客さま番号			
		引込柱	大南　１０Ｅ１Ｎ１		

送電予定日　年　月　日
上記日程で処理を進めておりますので変更のある場合は、速やかに連絡をお願い願します。長期竣工が遅延した場合は、お申し込みは取り消しされたものとして処理をさせていただきます。(関西電力)

施工電気工事店	住所	〒530－8270 大阪市北区中之島３丁目６番１６号 (電話番号　06－6441－8821)	電気工事業法の登録番号	大臣１０－００１	
	氏名	架空電気工事株式会社 (架空電気工事)	組合員証番号	12345	

【主任電気工事士】
氏名　鈴木　二郎
【免状No.】
第1種（大阪府　100001）
第2種（大阪府　543210）

作業者	1 山田　太郎 (免状No. 大阪府　100002)	工事着工日	平成 17 年 10 月 1 日
	2 山本　三郎 (免状No. 大阪府　100003)	工事竣工(予定)日	平成 17 年 11 月 1 日
	3 (免状No.　)	竣工日	平成 17 年 11 月 1 日

申込調査	要	希望　月　日　時	調査　月　日　時		
		希望　月　日　時	調査　月　日　時		
試験	要	完了　月　日	建物面積	延 158 ㎡	店舗　㎡
竣工届出時申込内容の変更	有	無			

電気協会等の諸統計に用いる為、必ず記入する。(店舗は再掲)

お客さまの電気配線はこの図面のとおりです。配線の改修、修理等にご利用下さい。

図面の記入漏れや問い合わせの必要がある場合、郵送やTELにより連絡が必要な為、必ず記入する。

電気工事業法により電気工事業として経済産業大臣または、都道府県知事に届出し、登録を受けた番号を記入する。

登録業者は第2種電気工事士の免状の交付を受け、3年以上の実務経験を有する人の中から選任した「主任電気工事士」を置くことが定められており必ず記入する。

工事の施工に従事した作業者の氏名と免状Noを必ず記入する。(作業者全員)

工事組合等に加入している場合、その組合員証番号を記入する。

当該お客さまに近接する電柱番号を記入する。

建築・機器据付等の完成予定日を記入する。

工事の竣工月日を記入する。

関西電力の調査が必要なときは、要を〇で囲み希望月日を記入する。

機器容量不明等で容量判定試験等が必要な場合に記入する。

申込時と竣工時の内容変更時に記入する。
(変更有の場合は、配線図面の訂正も忘れずに)

緑枠内に配線図、接続図を含め必要な箇所を記入して下さい。
(紙面内に記入できない場合は別紙を添付すること)

施工証明書 兼 お客さま電気設備図面の用途・目的

・お客さまへのご説明用として活用でき、電気工事業法に定める備付帳簿も兼ねます。
・新増設等又は配線改修等の申し込みに使用します。
・電力会社との技術協議する場合に使用し、自主検査やお客さま署名以外が記入されたもので行います。
・供給承諾の証となります。
・検査結果の確認と竣工届に用います。(自主検査実施の記入されたものを電力会社へ提出してください)
・所要材料を計算し工事費積算の基となります。
・配線チェックの確認や竣工調査用に用います。
・配線の定期点検や改修工事に使用できます。
・火災の際、電気関係に原因がないか確認する場合に使用します。

施工証明書 兼 お客さま電気設備図面の保存

電気工事業法により
・注文者の氏名(又は名称)および住所。
・電気工事の種類および施工場所、施工年月日。
・主任電気工事士等の氏名。
・配線図、検査結果。
を記入し、**5年間の保存が義務付けされている**。

電気工事士には、施工責任が課せられており、火災・人身事故等の場合、警察・消防等からの施工証明書兼お客さま電気設備図面の提出を求められる場合がある。

S:1/

自主検査結果

自主検査
お客さまへの引渡し前に電気設備の技術基準に沿った設備であることを以下のとおり確認いたしました。
※自主点検は電気工事業法による規制はもとより、施工時の見落とし作業、手直し作業の防止を図り、工事品質を向上させるために行っております。

実施月日　平成 17 年 11 月 1 日

検査者　山田　太郎　主任電気工事士確認印　鈴木

		検査項目	結果
1	絶縁(配線)	回路の絶縁抵抗は十分か	〇
2	絶縁(電気機器)	電気機器の絶縁は十分か	〇
3	配線設備	使用電線は適切か	〇
		配線方法は適切か	〇
		充電部が露出していないか	〇
		電線と他物の離隔は十分か	〇
		ラス・トタン貫通部の防護は十分か	〇
4	コード配線	屋内配線にコードを使用していないか	〇
5	配線器具(材料)	必要箇所に漏電遮断器を取付けてあるか	〇
		漏電遮断器の動作確認はよいか	〇
		漏電遮断器の取付は適正か	〇
		モーターの保護装置は適切か	―
		開閉器の容量、取付方法は適切か	〇
6	配線器具(その他)	充電部が露出していないか	〇
		器具は破損していないか	〇
		器具は正しく取付けられているか	〇
7	接地工事	接地は取付けてあるか	〇
		接地抵抗値は適切か	〇
8	その他	引込小柱の施設は適切か	〇
9	端子締付	開閉器類の端子の締付けはよいか	〇

(必須)工事竣工後自主検査を実施し、実施月日、検査者及びその結果を記入し、主任電気工事士が確認後、捺印またはサインをする。

(必須)全回路および分岐回路ごとの絶縁抵抗値を記入する。

L－L は、電線相互間。

L－E は、電線対地間。

(必須)接地の施工場所および接地抵抗値を記入する。

絶縁抵抗値測定			接地抵抗値測定		
測定箇所		測定値	種類	接地場所	測定値
全回路	L－L	50 MΩ	ED	鋼管柱	50 Ω
	L－E	50 MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ	EA		Ω
		MΩ	EB		Ω

お客さま(入居者さま)に**ご署名**および**ご署名年月日**を記入していただく。
＊お客さま(入居者さま)が決まっていない場合は、建築会社・工務店さまのご署名をいただく。

(　JIS　シンボル　記載欄　)

申し込み内容の確認。
申し込み協議が完了し供給を承諾した証として押印する。

配線、引込線、計器位置等を確認し、協議を実施した証として押印する。

電力会社使用欄	
供給承諾	申込協議
印	印

施工証明書を受領しました。

お客さま(ご署名)	関西　一郎　平成１７年１１月１０日	建築会社・工務店さま(ご署名)	年　月　日